

令和元年度 新城設楽地域産業労働会議における主な発言要旨

日時：令和元年 11 月 11 日（月）

午後 2 時から午後 3 時 30 分まで

場所：愛知県新城設楽総合庁舎 2 階 第 1 会議室

（産業 論点について）

- ・高齢化率が 50%を超える当地域では、2030 年頃には自動運転の他、農業トラクターを自動で動かしたり、ドローンで操作したりする事も必要となる。
- ・過疎化や高齢化が進む地域においては、これまでと同等なサービスや商品の提供を行うためには、機械化や通信、AI といった次世代の技術革新が我々の生活や労働にとってより身近なものとなる必要がある。
- ・第 1 次産業の林業と観光に力を入れているが、今後は地域資源をどう活かしていくかが課題と考える。
- ・ダム事業関係により建設業は比較的好景気であるが、その他業種の経営状況はマイナス基調にあり、後継者の問題も抱えている。
- ・当地はローテクな地域である。トヨタ自動車を中心としたハイテクな事はもちろん次期計画に載せていくことだと思うが、ローカルな地域の取組も盛り込んで欲しい。
- ・計画の策定案は、名古屋、尾張、西三河地域中心の感じがする。新城設楽地域の意見もビジョンに活かしてほしい。
- ・農業も産業振興の観点はあるので是非計画の中に入れてほしい。
- ・商店街が大手小売店等と共生する事は難しい。大手小売店が進出してくると、商品の品揃えが豊富で価格も安く、競争力では地域の商店街は非常に厳しい。
- ・地域商業の衰退を防ぐためポイントを付加したカードを作り、現在、加盟店は 75 店舗、8,400 人がカードを持っている。しかし、若者はネット通販を使う者も多く厳しい状態である。
- ・新城市作手地区で、10 月からデマンド交通のバス運行が開始され、バスを予約すると自宅の前まで来てくれて乗車できる。ゆくゆくは自動走行を考えていきたい。
- ・商店サービス業は後継者がいない。また、売上が伸びていないため廃業していくこともあると思われる。

（労働 論点について）

- ・愛知県のビジョンと新城設楽地区のビジョンはかけ離れている部分があることが率直な感想である。
- ・人手不足は深刻な状況である。正社員も全く人が集まらない。愛知県だけではなく他県にある工場も同じ状況である。
- ・就労にあたり子供を預かる施設の整備を市や県で対応してほしい。人口が減っていく中で、より多くの方々が働ける環境を作っていただければ最良と考えている。
- ・消滅可能性都市と言われており、早いスピードで人口が減少している。働き手が少ないことで女性の活躍を期待している。厚生労働省の生涯現役促進地域連携事業を 6 月から実施している。高齢者の方には 65 歳以上でも働く意識を高めて頂くためのセミナーを開き、事業者が求める雇用の確保に取り組んでいる。
- ・事業所内に保育所を設けて頂くことや、女性が働きやすい勤務時間の設定等を、事業者と話しあって進めて行こうと考えているところである。
- ・人材不足対応として、作業の容易化、単純化により、高齢者や障害者でも働くことができる環境作りが一番重要。

- ・高齢化率が50%を超えている。大変な人手不足に悩まされている。役場も人手不足であり、住民生活へ大きな影響を及ぼしているのが現状である。
- ・この地域の高齢化は、日本の最先端であり、この地域の課題を解決できれば、今後の日本に生じる問題の多くが解決していくのではと思う。住民の皆様が住みたい場所で住み続けられるように、人々の生活や暮らしを中心として考えていきたい。
- ・若者の流出を食い止めるため魅力ある環境をつくり、産業を興すことが必要と考える。
- ・この地域は、若者の働き手が少ないことで、外国人の働き手に頼らざるを得ない状況になっている。
- ・若い世代の人口流出を止め、定着させることが必要。20代、30代の若者が就職を機に戻って来ることは期待が薄い。また、高齢者・女性が活躍できる体制作りを期待している。

(交流 論点について)

- ・東栄町では「振草川鮎」の商標登録ができた。地元の事業者も「振草川鮎」を活用した商品開発を取り組んでいる。
- ・設楽町津具地区で、2015年に鹿と猪のジビエの処理施設を作り、ジビエを地域のブランドとして育てる活動をしている。処理数についてはこれまで順調に増えてきたが、今年度は豚コレラの影響もあり猪の受入体制が出来ない状況になり業績は不透明なところがある。
- ・清酒、ジビエ、川魚、農産物等が地域資源として登録されているが、それを活用して産業の活性化に結び付けていく事ができていない状況となっている。
- ・地域おこし協力隊の方々が、起業し地域に定着することがわずかにある。若い人たちの新しい発想で、私達が思いつかないことで起業する方もいる。そういった発想が地域の活性化に結び付けていくと感じている。

(その他について)

- ・補助金について過疎地域は都市部とは違った補助率を設定していただくとありがたいと思う。昔あった商業団体等事業費補助金では補助率が、街場の団体は1/2、過疎地域や離島は2/3であったように思うので、検討していただくと過疎地域ではありがたい。